

# 12月の園だより

令和5年11月28日

第一早蕨幼稚園

園長 生田 増美

少し遅い秋の訪れでしたが、すっかり寒くなってきたこの頃でも、園庭で落ち葉集めをしたり、ドッジボールや鬼ごっこをしたりして戸外での遊びを楽しんでいます。幼児期の体を動かす遊びが成長してからの健康や身体能力に大きく影響すると言われていています。これからも、寒さに負けずに戸外で遊べるように、遊びや環境を整えていきたいと思います。

間もなく生活発表会。コロナも落ち着き(ここへきてインフルエンザが猛威をふるっていますが)、コロナ以前の発表会をすることになりました。以前のように年齢による育ちを見ていただきたいという思いで、各部2クラスずつの発表になります。多くの方に見ていただけるので子どもたちのやる気も一段と上がると思います。

楽しくなりきったり演じたりできるよう、応援をお願いします。

2学期も終わりに近づき、もちつきや、クリスマス会などの楽しい行事が続きます。サンタさんが幼稚園に来て、プレゼントをくれたり、みんなでケーキを食べたりします。餅つきは、臼や杵で日本古来からの伝統行事の雰囲気を味わい、つきたてのお餅をきなこ餅やしょうゆ餅にして食べます。年長児は、旭高原にそりすべりにも出かけます。この季節ならではの行事を楽しみながら、2学期を元気に締めくりたいと思います。



かわいいお姉ちゃんにはかなわない？



間もなく生活発表会。満三歳児の子どもたちも張り切って参加します。普段どおりに元気な姿を見ていただければいいなということで、色々考えて試行錯誤しています。まだまだ幼い満三歳児の子どもたちは、舞台の上で座り込んだり、物思いにふけてみたり、ぶらぶらと歩いてみたり…。と本当に自由気まま。それはそれで良いのですが、せっかく一人ひとりが主役の場面では、それぞれの子が活躍できるように、補助の先生が舞台隅から「こっちだよ。座ろうか。お返事してね」等々、声をかけています。それでも子どもたちは気の向くまま動いたり、緊張しすぎたり…。思い思いの満三歳児です。そんな小さな子どもたちを支える先生たち。でも、舞台の隅で見え隠れする先生たちの体が巨人？のように大きく見えて、何だか圧迫感があります。そこでふと思いついたのが、いつも優しくしてくれる年長児たちに手伝ってもらおうということでした。数名の年長児にお願いしたところ、「いいよ」と引き受けてくれて、練習を手伝いに来てくれました。こんなお手伝いをしてほしい、と伝えると、私たちが期待していた以上の大活躍。手を添えてリードをしてくれます。そして驚いたことに、先生が何度声をかけても座るのが嫌だったS君。年長のYちゃんが声をかけ、隣に座ってくると、ちゃんと自分の出番を待つようになったのです。「えー。私がいくら声をかけてもだめだったのに…」「かわいいお姉さんだったら良いいってことー？」と先生たちは密かなショック！幼稚園の生活は、クラスの仲間だけではなく、何気ない異年齢のふれあいが日々たくさんあります。年長、年中の子どもたちは、自分が小さかった時に優しくしてもらったことを憶えていて、自然と年下の子を気遣っています。幼稚園では、子どもたち、素敵！があちらこちらで行われています。「かわいいお姉さんたちに負けずに素敵になろう！」と決意を新たに先生たちでした。発表会、お楽しみに！